YEG かわら版

(発行元)
鹿児島商工会議所
青年部広報委員会

2005かごしまレディースサミット開催される！

かごしまを元気にするために・・・。そして今年のＹＥＧの会長は女性。実は鹿児島ＹＥＧが「女性」をキーワードにレディースサミットを行ったのは今回が初めてではない。平成四年に「これからの鹿児島の女性像」をテーマに公開講座を行って以来、「仕事と家庭の両立の中で」「女性と職業について」「女性と育児について」などをテーマに、今回を含めて合計七回開催している。

▲基調講演をされた沖社長

そして大竹信子会長の熱い想いから復活した２００５かごしまレディースサミット。基調講演を皮切りに鹿児島の女性起業家四名をお呼びし、パネルディスカッションを行った。希望者には交流会に出席してもらい、個人個人の想い、悩み、素朴な質問などを直接ぶつけられるような機会も作った。大竹会長自身が、永吉町で有限会社新聖都市開発という不動産仲介の会社を立ち上げている起業家でもある。大竹会長は「起業という選択肢を、若くて将来がある若年層に気づいてほしい」と語る。基調講演を行った沖幸子社長は、主婦によるきめ細かいサービスを提供していハウスクリーニングの会社、株式会社フラオグループを経営している。一九八四年に創業以来、現在四百名を越える社員を抱えるいわゆる「成功事例」の社長である。当日は、沖社長がドイツ留学時代に事業を始めるきっかけとなった話から、今に至るまでの様々な体験を交えた軽快な語り口に、参加した高校生たちは「話がとてもわかりやすかった」「講演を聴くまでは、社長というとなんだか遠い存在のようだった。私にできるかわからないけど、がんばってみようという勇気が出てきた」と好評だった。

▲２００名を越す参加者が集まった

パネルディスカッションには沖社長に加え、鹿児島の女性起業家四名をお呼びした。鹿児島市の天文館でモデルプロダクションの有限会社アルテミスの乙守三千代社長、今年の市町村合併で鹿児島市になった旧喜入町でコーヒー豆販売業を営んでいる工房てたかの樋高悦子社長、同じく鹿児島市のみなと大通り公園近くで社交ダンス教室カサ・ダンサの田中主宰、そして当会長である大竹信子の四名。それぞれに、今まで事業を行っていく上で経験した障害や、今後のビジネスの展望、そしてビジネスに限らず、現在抱いている夢などを聞かせていただいた。

二百名超集まった講演会とパネルディスカッションのあとに、会場を拡げて交流会が行われた。交流会には約百六十名が参加し、鹿児島メンバーによる模擬フランチャイズのプレゼンテーションブースが三店出展し、より会社経営を身近に感じて貰えるよう趣向を凝らした企画に会場は盛り上がりを見せていた。

〔編集後記〕

今年は鹿児島ＹＥＧ初の女性会長ということでわれわれ広報委員会のメンバーも何度も臨時委員会を開いてがんばってきました。当日はマスコミの方々もいらっしゃっており、どのように映ったか興味があるところですが、公開講座とはいえ、参加者総勢２００名超も集まりました。今回の企画にあたり、各方面で様々な形で助けていただき、そして協力していただき、鹿児島ＹＥＧ一同心より感謝しております。運営に当たっては行き届かない点もあったかと思いますが、今後の反省材料として糧にし、次回以降の例会に役立てて行きたいと思います。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。